

活動報告

PEG実技モデルの作製と実践形式のPDNセミナー開催による地域連携に向けた取り組み

望月弘彦

クローバーホスピタル消化器科

[和文要旨]

実践的な PEG セミナーを目指して、DIY ショップで入手できる材料（5 面体透明アクリルボックスと NR グレースポンジ）で PEG 実技モデルを自作した。栄養剤の滴下や半固形化栄養剤の注入の様子を確認することができ、胃ろうカテーテルの抜去・挿入時の手応えも再現することができた。セミナーには 80 名が参加し、アンケート結果では全員が参考になったという回答で、胃ろうの構造や実際のケアについての理解が深まると同時に参加者の満足度も高かった。今後も、この PEG 実技モデルを活用して PEG についての啓蒙活動を続け、地域連携につなげていきたい。